

平成20年度 滋賀県総合防災訓練について

- 1 日時 平成20年9月7日(日) 午前7:00～12:30
(総合閉会式は神照運動公園において12時から実施)
- 2 場所 湖北地域
(長浜市・米原市・虎姫町・湖北町・高月町・木之本町・余呉町・西浅井町)
- 3 主唱 滋賀県防災会議
- 4 主催 滋賀県・長浜市・米原市・虎姫町・湖北町・高月町・木之本町・余呉町・西浅井町

5 訓練目的

各防災機関、関係団体、企業、地域住民および児童生徒等の参加のもとに総合防災訓練を実施し、災害時において関係者が連携して、迅速、的確に対応できる体制の確立と県民の防災意識の高揚を図る。

6 災害想定

平成20年9月7日(日)午前7時00分、湖北地域で大規模地震が発生。湖北地域で震度7を観測し、家屋の倒壊、火災の発生、ガス・水道・電気・電話等ライフライン施設、鉄道、道路、堤防の破損等があり、多数の死傷者が発生した。

7 参加人員等

- ・参加人員：約14,000人
- ・参加機関：635機関
- ・参加車両：車両355台、船舶4隻、ヘリコプター9機、災害救助犬2頭
(数量は全て延べ表記)

8 主な訓練

(1)住民参加型訓練

- ・湖北地域では住民に対する外国人比率が県内平均と比べて高いところがある。外国人は災害時に言葉の壁などから災害時に避難が遅れることが予想され、この避難支援対策が近年の課題となっている。当訓練では地域の自治会や民生委員児童委員等と外国人支援団体・民間企業が連携を図り、避難支援訓練や防災体験訓練を各市の実情に沿った形で行うことで支援を進め、外国人支援の一モデルとする。

長浜市(1)、米原市(2)

- ・災害時に役立つ種目で競う防災運動会を開催する。速さだけを競う通常の運動会とは異なり、バケツリレーでは集団の協調性、担架搬送リレーでは安全性や正確性が求められるものである。実際の災害現場をイメージしつつも楽しみながら、防災意識の高揚を

図る。

長浜市(1)

- ・ 避難訓練だけでなく、避難所の開設及び住民受入れ、救援物資等の受入れや給水所の開設・給水訓練、炊き出し訓練などを有機的に結びつけた訓練を実施する。

米原市(2)

- ・ 全町をあげて自治会、自主防災組織等の参加により、地域住民による避難誘導、安否確認、初期消火訓練等を町民総出で行う。

余呉町(7)、西浅井町(8)

(2)防災関係機関による連携訓練

- ・ 現場指揮命令系統の確立を図る訓練

被災現場での指揮命令系統を確立するため、消防、警察、自衛隊、医療関係機関等の各防災関係機関が現場指揮本部を設け、総合調整を行ったうえで指揮運営を行うことにより、情報の共有を図って対応計画(役割分担)等を決定する。

長浜市 神照運動公園自由広場ほか(9,10,11,12,13,14)

- ・ 集団救急救助訓練

平成 16 年 10 月の新潟県中越地震により、走行中の上越新幹線列車が脱線した事故はまだ記憶に新しいところである。また、死者 106 名、負傷者 555 名を数えた福知山線脱線事故では、地震だけではなく大規模事故発生の際の救急救助体制が課題となったところである。本訓練では、地震により営業運転中の列車が脱線し多数の負傷者が発生したと想定し、西日本旅客鉄道(株)、消防、警察、医療機関、地元住民等が連携して救出救助活動を行う。

米原市 鉄道総合技術研究所(12)

- ・ 土砂災害救出救助訓練

地震により道路が崩壊し走行中の車両数台が土砂に埋没するとともに、付近で工事をしていた作業員が生き埋めになったと想定し、警察、消防、自衛隊、日本レスキュー協会、建設業協会、日本自動車連盟、警備業協会及び医療機関等が連携して救出救助訓練を行う。各機関が情報を共有し、連携して作業を行うことにより、迅速な救出を行う。

長浜市 神照運動公園自由広場(13)

- ・ B C 災害対応訓練

B C とは (Bio = 生物) (Chemical = 化学) のことである。当訓練では地震により走行中の毒劇物輸送タンクローリーが横転し毒劇物が漏洩。さらに衝突を避けようとした大型バスがガードレールに衝突し多数の負傷者が発生していると想定し、警戒区域の設定から始まり、毒劇物の検知やホットゾーンやウォームゾーンといったゾーニング設置、救出救護及びトリアージや応急処置、防護服着用による除染・消毒といった活動を消防、警察、医療関係機関等が連携して行う訓練を実施する。

長浜市 神照運動公園自由広場(14)

- ・ 大規模工場火災防ぎょ訓練

地震によりびわ工業団地内の大規模工場が半壊し出火、多数の負傷者や閉じ込めが

発生していると想定し、消防、医療関係機関が連携して救出救護訓練、中継送水訓練を行う。

長浜市 ヤンマー(株)びわ工場(10)

・林野火災訓練

ウッディパル余呉周辺で地震により倒壊した建物から出火、付近の山林に延焼し林野火災が発生したと想定し、消防関係機関と森林組合等が連携して遠距離中継送水消火と防火線設定訓練を実施する。さらに自衛隊による空中消火訓練を行う。

余呉町 ウッディパル余呉(9)

(3)シナリオなし訓練

・土砂災害救出救助訓練

神照運動公園（総合閉会式会場）において、警察、消防、自衛隊、医療関係機関、日本レスキュー協会、建設業協会、日本自動車連盟、警備業協会及び医療機関等が連携して、土砂災害や家屋の倒壊を想定した救出救助訓練を行う。この訓練においては当初から詳細なシナリオを示さず、時間経過とともに新たな状況を付与する事により、自分の役割の遂行だけでなく相互の情報伝達・連携といった実災害時に重要となる能力を高めるものとする。

長浜市 神照運動公園自由広場(13)

・緊急初動対策班訓練

大規模地震発生時における緊急初動対策班要員個々の災害対応能力の向上、および各緊急初動対策班間における連携強化を図る訓練を実施する。この訓練形態は、完全なシナリオに沿った訓練でなく、訓練参加者にとってはシナリオなしとなるロールプレイング方式の図上シミュレーションとし、実働訓練内容とも連携を図った内容で訓練を実施する。

県庁ほか

・大規模災害救護訓練、DMAT 指揮訓練

地震災害や列車事故、BC 災害など大規模災害が生じた際、多くの傷病者が発生し、医療の需要が極度に拡大することから、被災地内の医療を担う医療者や医療機材が不足する。当訓練では県内各地の災害拠点病院から DMAT (Disaster Medical Assistance Team) を被災地に送り込むが、その際に派遣先情報を DMAT には示さないまま出発させ移動中に統括 DMAT 本部より派遣先を指示、到着次第現場での緊急治療や病院支援を行うシナリオなし訓練とする。

長浜赤十字病院(16)

県庁ほか(21)

(4)琵琶湖を活用した訓練

・物資輸送訓練

県内7カ所の備蓄倉庫から長浜港を集積地とし各避難所へ救援物資を輸送する訓練を行う。陸路が寸断されたとの想定で、県内各港から長浜港へ観光船、漁船、県有船を用いた湖上輸送を行う。

長浜港ほか(17)

(5)空路を活用した訓練

・患者搬送訓練、緊急用医薬品搬送訓練

今年6月に発生した岩手宮城内陸地震では、大規模な山地崩壊が生じ陸路がことごとく寸断されたものの、隣接近隣道県からの応援や自衛隊所有のヘリコプターなどにより救出救助が迅速に行われた。また福知山線脱線事故では事故現場近くの中学校グラウンドを臨時ヘリポートとし、緊急を要する容態の負傷者の域外の大規模医療機関への搬送が行われた。当該訓練では地震により陸路が寸断し、陸上搬送が困難な状況を想定し、被災現場から現地医療機関への患者搬送訓練を行う。

あわせて、多数の負傷者が発生しているが陸路の寸断により陸上輸送が困難な被災地の応急救護所へ向け、応援協定を結んでいる(株)ノエビアのヘリコプターによる緊急用医薬品の輸送訓練を行う。

長浜赤十字病院(16)

長浜市 神照運動公園自由広場ほか(21)